

音楽科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

1. 日時・場所 平成23年12月〇日 (〇)
2. 学年・組 第1学年〇組
3. 単元名 箏に親しもう
4. 本時の目標： 箏の基本奏法を身に付ける。
箏に親しみ、積極的に演奏に取り組もうとする。

	主な学習活動と 予想される反応	指導上の留意点	評価規準
導 入	1 前時の学習を簡単に振り返る。 2 本時の目標を伝える。	○「柱」「爪」「平調子」について確認する。 ○ワークシートに記入させる。 (ワークシートp 3)	
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 箏に親しみ、その基本奏法を身に付けよう </div> 3 リーダーを集め、奏法の5つのポイントを伝える。 (ワークシートp 2) 4 「さくら」を練習する。 《予想される生徒の様子》 ・龍角から離れた場所をはじいている。 ・右手が龍角から離れている。 ・弦をひっかいている。 5 基本奏法を再確認する。 6 全員で「さくら」を演奏する。	①爪のはめ方 ②体の向き ③はじく場所 ④右手の薬指の位置 ⑤次の弦への押し当て ○リーダーが集まっている間に、リーダー以外の生徒で平調子の調弦を行う。 ○各グループを巡回し、どの部分がうまくできていないかを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 【ICTの活用】 5つのポイントのうち③④⑤を中心に、実物投影機で教師の手元をテレビに映す。 </div> ○演奏しない生徒は、演奏者のサポートを行う。	【関心】 ・グループ練習に積極的に参加している。(授業観察) 【表現の技能】 ・箏の基本奏法を正しく身に付けている。(授業観察)
ま と め	7 授業の振り返りを行う。 8 次時の予告をする。	○ワークシートに記入させる。 (ワークシートp 3)	

- ICT活用のねらい：
- ・基本的な奏法を確実に身に付けるために、実物投影機を用いて、教師の手や指の動きを全員に見せることで、奏法のポイントを再確認させ、より効率的に基本奏法を定着させる。